



ほんべつ 議会だより

No.78

平成28年8月1日発行



よく見て渡ろう 横断歩道！

7月5日 勇足保育所こぐまクラブ交通訓練（交通公園）

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会

北海道中川郡本別町北2丁目4番地1

TEL 0156-22-8123

FAX 0156-22-2147

本別町議会基本条例を制定しました。

(平成28年6月15日施行)



第2回定例会

本別町議会基本条例など関連する議員発議5議案並びに18議案を可決。

平成28年第2回定例会は6月7日に開会し、本別町議会基本条例の制定及び関連5議案や町提出議案の審議を行い全て可決しました。また、収納業務不適切処理に関する調査特別委員会を設置し、閉会中の継続調査を行うことを決定しました。審議された内容は次のとおりです。

議会基本条例制定にあたつて

議会基本条例の策定について
は、平成24年から議会改革・活性化項目の中に盛り込み、議会運営委員会や議員協議会で議論を重ねてきました。

また、議会運営委員会では、必要に応じ、既に導入されている先進的な道内の市議会、町議会へ調査・視察を行ってきました。

この間、延66回にわたる議論の結果、町民の皆様に開かれた参加の場の確保、議員の責務、議会運営の基準などをこの条例に定め、

町民の皆様に信頼される議会づくりを目指すためにも、本別町独自の基本条例が必要と判断し、「身の丈に合った議会基本条例」の策定に向けた取り組みを進めてきました。

議会基本条例の構成

議会基本条例は、前文と17の条文で構成されており、議会や議員の責務、議員の活動原則など基本的な事項や町長等に反問権の規定や議員の政治倫理等について定めました。

議会基本条例の主な内容

◆質問や質疑の趣旨などの確認

◇町長等に、議員からの質疑や質問に対し内容の確認、質疑の趣旨、質問の背景・根拠を問うことができると規定し、別に要綱で定めました。

◆議員の政治倫理について規定

◇議員の地位や影響力を行使することによって、町民の疑惑を招くことがないよう倫理について規定し、「議会政治倫理要綱」を定めました。

◆議決事項の拡大

◇地方自治法には、町村で作成している、特に重要な計画等は、議会の議決事項に追加できる条文があります。議会改革・活性化の協議をする中で、町総合計画のうち5年に一度作成する「基本計画」を追加しました。

※「議会反問権実施要綱」 本会議、常任委員会や議員協議会等で議員からの質問等に対し、議長（または委員長）の許可を得て、質問等の趣旨の確認、根拠などについて質問できるよう定めました。

※「本別町議会基本条例 解説付書き」を8月1日に各戸にお配りいたしますので、「ご参考願います。



懇談会で基本条例の説明

一般会計補正

ふるさと納税

問 本町のふるさと納税は、イトから受付ができるようになるが、スマーズな申し込みは可能か。

答

6月からインターネットポータルサイトのふるさとチョイスを利用して、本町へ直接寄付を申し込むことが可能となりました。また、クレジット決済（9月から予定）の導入も行い、スマーズな受付ができるよう対応をしています。

ふるさと納税総合サイト
ふるさとチョイス



妊娠婦安心出産支援事業

①159万3千円の増となっていますが、何人分を

見込んでいるのか。
②助成は、検診の都度支払いを行なうのか。

答

①40人を見込んでいます。
健診査時の交通費を産前産後合せて1人16回分と宿泊費5泊分などを計上しています。
②妊娠婦の一般検診を対象としており、母子健康手帳の通院記録で確認し、検診が終わること一括として助成する予定です。

条例

特別職の給料の減額支給に関する条例の制定

町税の不適切な処理に関し、町民の皆様や議員に対し多大な迷惑をかけたこと、また、町政に不信感を持たせたことにより、町長及び副町長の給料を減額支給する条例の提案がされました。
※詳細は9ページに掲載

条例の内容は、町長の給料を30%、副町長の給料を10%を7月から9月までの3ヶ月間減額するものです。

条例改正

保育所及び幼稚園の利用者負担を軽減するための条例改正

本町の保育所及び幼稚園に通う低所得世帯の負担軽減を図るための提案がされました。

◆多子世帯の軽減措置の改正

現行 保育所に2人以上入所している場合（幼稚園は、第1子が小学3年生まで）は、第2子を半額とし、第3子以降は、いずれも無償。

改正後

年収約360万円未満相当の世帯は、従来の多子軽減における年齢の基準をなくし、第2子を半額、第3子以降は現行どおり無償です。

◆ひとり親世帯の軽減措置の改正

現行 第1子は千円引下げ、第2子を半額とし、第3子以降は無償。

改正後 年収約360万円未満相当のひとり親世帯については、第1子は現行の半額、第2子以降を無償化としました。

熊本地震への支援

熊本地震により被害を受けた熊本県に、本別町議会議員会から日本赤十字社を通じて義援金にて支援しました。



阿保議員が自治功労者表彰受賞

北海道町村議会議長会より自治功労者として、阿保静夫議員が表彰されました。阿保議員は、議員25年以上の長きにわたり、地方自治の振興発展に貢献された功績が認められたもので、6月15日の議会で、表彰状の伝達式が行われました。

第2回定例会



平成28年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(10万円)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館用図書（指定寄付金） (臨時会)
	(4,924万円) 68億1,885万円	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興基金（指定寄付金） ふるさと納税寄付金事業拡大（ポータルサイト利用手数料、寄付金事業総合支援業務手数料等） 妊産婦安心出産支援事業 住宅改修等助成事業 特別職給料の減額 (定例会)
特別会計	(27万8千円) 13億4,006万1千円	<ul style="list-style-type: none"> 国保事業広域化に伴うシステム修正 (定例会)
病院事業会計	(1,003万4千円) 9億4,506万2千円	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員初任者研修 福祉でまちづくり宣言記念事業の拡大 (定例会)
	(△1,016万1千円) 2億7,350万9千円	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動等に伴う人件費の調整 (定例会)
	(125万3千円) 13億8,705万7千円	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚科医師派遣 備品購入 (定例会)

※第2回臨時会含む

○ 5割軽減、2割軽減の軽減判定所得の算定引き上げ	基礎分課税限度額	税限度額	・後期高齢者支援金分課
この改正による影響額は、前年度の課税分に置き換えることにより100世帯、約194万円、支援金分課税限度額の改正では、63世帯、約110万円の増き上げで、19世帯、約19万円が増加になります。	・基礎分課税限度額	税限度額	・後期高齢者支援金分課
この改正による影響額は、前年度の課税分に置き換えることにより100世帯、約194万円、支援金分課税限度額の改正では、63世帯、約110万円の増き上げで、19世帯、約19万円が増加になります。	・基礎分課税限度額	税限度額	・後期高齢者支援金分課
この改正による影響額は、前年度の課税分に置き換えることにより100世帯、約194万円、支援金分課税限度額の改正では、63世帯、約110万円の増き上げで、19世帯、約19万円が増加になります。	・基礎分課税限度額	税限度額	・後期高齢者支援金分課
この改正による影響額は、前年度の課税分に置き換えることにより100世帯、約194万円、支援金分課税限度額の改正では、63世帯、約110万円の増き上げで、19世帯、約19万円が増加になります。	・基礎分課税限度額	税限度額	・後期高齢者支援金分課

陳情書

平成28年6月定例会に西仙美里自治会（風間進会長）から提出された「西仙美里自治会内12号線道路の拡幅道路基盤整備、歩道及び道路側溝付随工事付きにて舗装を求める陳情」は、産業交通量、通行者などの現地調査を4回実施しました。



産業厚生常任委員会による現地調査

平成28年6月24日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に

山下芳久氏
(勇足東4)

の再任に同意しました。

条例改正

開催日 4月28日

第2回臨時会

第2回臨時会



役場庁舎

高橋町長 ①定数
外職員数は、準職員34人、嘱託職員18人、臨時職員1

②現状の中で大災害が起きた場合、どのように対応するのか。また、町外通勤者17人に対する考え方を伺います。
③過去5年間の退職者と新規採用者の関係は。

高橋町長 ④昨年3月と9月に住民課の職員が退職しています。理由は

定数外職員とは



72条第3項によると、職員で、本町では準職員、嘱託職員として採用され、主に正規職員の事務補助等の業務を行います。

一般質問

3人の議員から6問



行政

今後の職員定数のあり方は

答 正職員数を見直し、準職員と嘱託職員で対応しています



大住啓一議員

68人です。臨時職員は施設管理に多く配置しています。
②防災マニュアルにより対応しています。災害含め対応に奔走しなければならないと強く言っています。

③退職者が81人、採用者が70人です。

④納税業務で不適切な事務が発覚し、その後自主退職しています。

大住議員 ①定数外職員の人数と配置状況はどのようになっているか伺います。

②現状の中で大災害が起きた場合、どのように対応するのか。また、町外通勤者17人に対する考え方を伺います。

③過去5年間の退職者と新規採用者の関係は。

高橋町長 ④議員協議会で報告します。

大住議員 ④大変重要な案件です。説明する責任があると思いますが。

大住議員 ①町が保有する公用車の台数と委託会社に貸し付けている台数は。
②公用車を管理している部署はどこか。
③1年間の燃料代はいくらですか。また、交通事故に起因する損害賠償についての考え方。

高橋町長 急を要する職員がおり、私が声をかけ乗せました。近場では私が運転することもありますが、御指摘がないう、しっかりと対応しています。

公用車の管理について

答

使用状況を勘案し、適切な台数維持に努めます

町長車と運転手の配置を考えるべきでは。

高橋町長 急を要する職員がおり、私が声をかけ乗せました。近場では私が運転することもありますが、御指摘がないう、しっかりと対応しています。

大住議員 5月23日の12時過ぎ町長が運転する公用車に女性職員が同乗していました。町長自ら運転するならば、



公用車



福

祉

老人クラブの育成を 答 老人クラブと協議していきます



高橋利勝議員

高橋議員 ①老人クラブの会員の減少が進んでいます。改めて老人クラブ関係者などと、その対策を協議するべきと思います。

②老人クラブの活動推進のため、老人クラブへの助成、公共施設の減免率について、老人クラブと協議していくべきと思うが。

高橋町長 ①本町の老人クラブの会員数は、平成19年には954人でしたが、現在では445人に減少しています。育成については難しいですが、少しでも老人クラブに加盟していただきながら、単位老人クラブから連合会という体制



高齢者文化祭の一コマ

が取れるよう努力しています。
②老人クラブへの補助は、個々の基準に沿って、それぞれ今までと変わらず、若干プラスするぐらいの方向で行っています。

また、老人クラブの皆さんの施設の利用については、複雑になつてるので、より活動をしやすくするために、これらの方々を見直して、統一し、利用しやすいように努力します。

高橋町長 これまで障がい福祉サービスの利用に関する相談支援を初め、難病の方々のグループを立ち上げるための相談支援を行っています。

参画については、難病の方々を代表とする組織がないため直接的な参加はできていませんが、今年度に難病患者の方が個人でチャレンジド・ネットワークに加入する予定ですので、協議会内のチャレンジ部会に参加が可能となります。

大住議員 本別町には、現在約80人の方が「難病」と向き合っています。本年4月に「本別町障がい者自立支援協議会」が再編されました。協議会の中で難病の方々がどのような立場で参画していただくのか伺います。

高橋町長 いきなり施設をつくるとは、なかなかなりません。その前に組織をつくり、活動等の一定の方向を定めることが一番だと思います。

難病に対する考え方について 答 難病の方々の組織づくりを支援します



難病手帳とバッジ

大住議員 難病の方々や障がいの方々が集う施設についてどのように考えていますか。

高橋町長 昭和47年の難病対策要綱において、「(1)原因不明、治療方法未確立であり、かつ、後遺症を残すおそれがある難病、(2)経過が慢性にわたり、単に経済的な問題のみならず介護等に著しく人手を要するため家族の負担が重く、また精神的にも負担の大きい疾病」と定義されています。

博士から ものしおり

地域住民集会施設設置補助規則

自治会等が設置する集会施設の新築、取得、改築（以下、新築等）の経費を補助します。

新築、取得の補助金額は査定額の90%以内で、限度額は1集会所につき500万円です。また、改修の補助金額は改修費用の90%以内とし、限度額は1集会所につき250万円です。（自治会の再編統合による合併により新築等を行った場合には、特例加算額があります。）

高橋議員

①高齢者対策、防災対策において、自治会の役割は強まっており、同時に活動の拠点となる集会施設の整備が求められています。公共施設の活用が難しい自治会の整備について、どのように考えているか。

②自治会が自主運営している会館では、施設の老朽化、維持費の負担が重荷となり苦慮しています。関係自治会と協議すべきでは。

高橋町長

①それぞれの自治会で工夫をしながら、福祉施設、民間施設を利用して円滑な自治会活動をしていると判断しています。

②自治会が設置する集会施設については、**地域住民集会施設設置補助規則**をもつて補助するこ



錦町会館

会館の自主運営について自治会と協議を

答 年度内にかけてしっかりと協議していきます

高橋議員

②先ほども申し上げましたが、会館を自主運営している自治会では、維持費の問題、老朽化対策に苦慮しています。該当自治会と協議していくべきでは。

高橋町長

②この後、自治会と年度内にはしっかりと協議していきます。



阿保静夫議員

本別町鳥獣被害防止計画の推進は

答 町が有害駆除の責任を持つています

高橋町長

①有害駆除の許認可は間違いない町の対応となります。「実施隊」は平成23年に猟友会中心に設置が必要な出動をいただいています。

阿保議員

国の「鳥獣被害防止特別措置法」は市町村に対し、都道府県から捕獲許可の権限移譲、「鳥獣被害対策実施隊」を設け、民間隊員は非常勤公務員にできる等、3本柱の指針を示しています。

①町は、国の指針をどのように受け止めていますか。

また、捕獲の権限移譲を道から受けていますが、具体的な対応について伺います。

②町の「捕獲奨励金」（エゾシカ1頭当たり3,500円等）の額について見直す必要はないか伺います。



シカのくくり罠

暮らし

農業

本別町鳥獣被害防止計画の推進は

答 町が有害駆除の責任を持つっています



高橋町長

①有効駆除の許認可は間違いない町の対応となります。「実施隊」は平成23年に猟友会中心に設置が必要な出動をいただいています。

②国などの奨励金の金額・補助体制が変われば、検討しなければならないと考えています。



阿保静夫議員

高橋町長

①有害駆除の許認可は間違いない町の対応となります。「実施隊」は平成23年に猟友会中心に設置が必要な出動をいただいています。

②国などの奨励金の金額・補助体制が変われば、検討しなければならないと考えています。

意見書

第2回定例会では2件の意見書が提出され、可決されました。意見書の要旨は次のとおりです。

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 高橋 利勝

可決

中学卒業者数の減少期だからこそ、学級定数の見直しが行うなど、地域に高校を存続させ、希望する全ての子どもに豊かな後期中等教育を保障していくべきであります。地域の意見・要望を十分反映させ、「新たな『高校配置計画』」を創り出すことを求めます。

提出者 黒山 久男

可決

対総合的な介護人材確保

地方自治体は、子育て支援、医療など社会保障や人口減対策を含む総合戦略の策課題に直面しています。来年度の政府予算、地方財政の検討では、社会保障総額の確保を図ることを求めます。

全国的に介護福祉士の人材不足が大きな問題となっていますが、人材確保と離れます。

①本別高校生や60歳代の方等を対象に「介護職員初任者研修」を開催し、民間研修機関への委託で実施しますが、町内事業者等で対応できるものは地元人材を起用する考えです。

病院事業会計の決算見込みは、収入が11億5,818万9千円、支出が12億5,545万円となる見込みです。

病院事業会計の決算見込みは、収入が11億5,818万9千円、支出が12億5,545万円となる見込みです。また、今年度の8月には、ほんべつ福祉セミナーを計画しており、人材確保や人材育成につなげたいと考えています。

今後の取り組み

①本別高校生や60歳代の方等を対象に「介護職員初任者研修」を開催し、民間研修機関への委託で実施しますが、町内事業者等で対応できるものは地元人材を起用する考えです。

また、この助成制度は、平成29年度も実施します。

第2回 定例会

込27年度各会計の決算見

一般会計の決算見込みは、歳入67億8,419万3千円で、歳出が66億7,086万1千円となる見込みです。

国民健康保険など6特別会計を合わせた歳入決算見込みは33億8,952万9千円で、歳出は32億8,673万2千円となる見込みです。



介護の様子（特別養護老人ホーム）

交付事業 本別町住宅改修等助成

②新たに常勤雇用として就労する介護従事者等を対象に、就業継続及び住宅準備に係る補助金の交付を行い、介護人材の確保・定着等を目的とした「介護人材等確保支援事業」の実施に向け協議を進めています。

詳しい診療日程等については、町広報等で周知する予定です。

帯広厚生病院と皮膚科外来の医師派遣について協議を進めていましたが、本年7月から、帯広厚生病院皮膚科医師により月2回、午後診療を行うこととなりました。

皮膚科外来の開設



皮膚科の診療器具

収納業務不適切処理に関する調査特別委員会を設置

～6月15日、町側からの説明から7月11日までの経過～

6月14日に行われた大住議員から的一般質問により、住民課納税担当2人の職員による収納業務における不適切な処理が明らかになりました。一連の関係についてお知らせします。

詳細 1人目は、平成23年3月に訪問徴収した住民税12万3千円、2人目は、平成27年3月31日から7月にかけて休日に役場日直に納税された税金2件、訪問依頼により徴収した税金4件、税担当窓口で納められた税金9件、計15件で38万7,478円について、収納処理を怠るなど、ずさんな事務処理がされていました。町は、不適切な事務処理をしていた2人の職員に対し、1人目は戒告、2人目は減給10%（1カ月）の処分をしており、その後、2人とも自主退職しています。

議員協議会

開催日 6月15日

一般質問の翌日に議員協議会を開催し、町側から説明を受け、報告が遅れた理由、訪問徴収の記録はついているかなどの質問が出されました。

定例会での行政報告

開催日 6月16日

町長から不適切処理に関し、管理監督の最高責任者としての責任を痛感しているとの行政報告がありました。

特別職の給料の減額支給に関する条例の制定

3ページを参照願います。

収納業務不適切処理に関する調査特別委員会設置

開催日 7月11日

議長を除く11人で構成する調査特別委員会設置の件が原案可決されました。

◎委員長 林 武君
○副委員長 高橋利勝君

収納業務不適切処理に関する調査特別委員会（第1～3回）

開催日 7月11日

図 2人の職員の処分は、収納処理の不適正と判断したところがあるが、横領も含めて検討されたのか。
答 公金は一番重要と考えていますので横領含め調査しました。本人や関連職員などへの事情聴取等を行った結果、横領ではなく紛失、不適切処理と判断しました。今後のスケジュールの確認、また、町に提出を求める関係書類の協議を行い、過去5年分の収納状況など、12項目の関係資料の提出を求めました。

開催日 7月11日

図 処分の根拠となつた法令や条例、規則は。
答 課長補佐は、「地方公務員法第29条（懲戒）」及び「職員の懲戒の手続及び効果に関する条例」による懲戒処分とし、人事院からの「懲戒処分の指針」の公金官物取り扱い関係紛失（4）を参考した（9）公金官物処理不適正を参照した減給1カ月10%処分としています。

今回の事例が出た大きな要因の一つですので、再発防止対策に臨んでいきます。

問 横領の場合は免職だが、なぜ、懲戒処分と判断したのか。

答 横領の場合は免職だが、なぜ、懲戒処分と判断したのか。

問 懲戒免職処分や禁固刑以上での刑であれば支給制限に該当します。今回は懲戒処分ですでの、減給前の基本給で算定し、課長補佐は、勧奨退職ですので加算して支給しています。

答 懲戒免職処分や禁固刑以上での刑であれば支給制限に該当します。今回は懲戒処分ですでの、減給前の基本給で算定し、課長補佐は、勧奨退職ですので加算して支給しています。

答 懲戒処分前年の平成26年12月26日に退職願の提出があり、十分に法や制度、本人の功績などを含めて、制度が適用できるか検討しました。



議場で特別委員会開催（7月11日）

今後の日程

8月17日、調査特別委員会開催（参考人招致を予定）
※監査委員の随時監査も同時進行。

特養建て替え計画

町民懇談会の質疑等については、まちづくり速報版（6月1日発行）でお知らせしていますが、北地区交流センターなどで、「意見がありました」「特別養護老人ホーム（以下、特養）建て替え」に関する町の計画の推移、また、議員の主な意見を掲載いたします。

「太陽の丘」整備と老人ホーム建て替えにかかる主な計画（各計画書より）

- 安心・安全・健康（命と暮らしを守る）

1. 本別町医療・保健・福祉ゾーン整備計画

（平成9年6月策定）

福祉ゾーンのブロック構成には、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、精神障害者地域生活援助施設、身体障害者通所授産施設などが計画されています。

町民が安心して生活できるよう保健・医療・福祉体制を更に充実し、町民の命と暮らしを守るために施策を展開します。（保健・医療・福祉の一体的なサービスの提供）

4. 銀河福祉タウン計画

○第1期 平成12～16年度

（5年計画、3年毎見直し）

○第2期 平成15～20年度

（5年計画、3年毎見直し）

○第3期 平成18～21年度

（3年計画）

○銀河福祉タウン計画の推進

保健・医療・福祉施策の総合的な展開を図ります。

3. 第6次総合計画・基本構想

（平成23～32年度）／P20、21

○太陽の丘への移設から
「建て替え場所の検討」に
変更。

所建設する方向で検討を進めます。

②1カ所目は、清流の里に併設し、平成29年度の供用開始に向け検討を進めます。定員は20～29人。

③2カ所目は、第7期に問い合わせ、現行の介護老人福祉施設を解体します。



本別町特別養護老人ホーム

●2カ所目の候補地（平成27年6月、議員協議会にて

説明）
 ○南3丁目（营林署苗畠跡地）
 ○向陽町（現特養の隣接地）
 ○国保病院隣接地（太陽の丘）
 ○仙美里中学校跡地

まとめ

○第4期 平成21～23年度
(3年計画)

○第5期 平成24～26年度
(3年計画)

○第6期 平成27～29年度
(3年計画)

○銀河福祉タウン計画の推進
保健・医療・福祉施策の
総合的な展開を図ります。

○第3期 平成18～21年度
(3年計画)

○太陽の丘への移設から
「建て替え場所の検討」に
変更。

○第6期 平成27～29年度
(3年計画)

○地域密着型特養を2カ

議町員の主な意見での見

第6期計画では、2カ所にわけて建設する計画であり、1カ所目は清流の里、2カ所目は、太陽の丘を含む4カ所の候補地で検討されている旨の説明を議会では受けています。

≈1カ所で建設を

1カ所で整備することで維持経費が節減でき、課題となつている介護職員数も少なく対応できる。また、入所定員数を増やし、1カ所で大きな施設を整備することで、入所待機者解消と他町村からの受入れ等にも有利と考へる。

≈2カ所で建設を

国の推奨は地域密着型であり、1施設29人以下の小規模特養であること。
デイサービスや高齢者住宅等との連携を図り、高齢者それぞれの状況に応じた対応が可能となるなど、現状に対応していると考へる。

写真で見る議員活動

南三陸町議会表敬訪問



5月18日に南三陸町議会産業建設常任委員会委員5人が、東日本大震災後の支援に対する表敬訪問がありました。

環境整備に汗



5月12日、追名牛町道、美里別高東（熊谷坂）の道道のゴミ拾いを行い、軽トラック2台分のゴミが集まりました。

とかち広域消防局視察



5月23日に本年4月1日からスタートした「とかち広域消防局」へ視察を行いました。

町民植樹祭



5月19日に町有地（美里別西上）で開催された町民植樹祭に参加しました。

宮城県美里町議会視察研修来町



7月14日に宮城県美里町議会から議長並びに教育、民生常任委員6人が来町され、「ごみの減量化の取り組み」について研修されました。

議員研修会に参加



7月5日に札幌市で開催された「町村議会議員研修会」に参加し、議会活動への研鑽を深めました。

委員会報告書

総務

総務委員会

調査日／平成28年4月26日

○小中学校の特別支援教育の取り組みについて

- 特別支援教育について
- 特別支援教育を行うもとのとする」となっています。
- このことから本町でも、

- 知的障がい者、②肢体不自由者、③病弱・身体虚弱者、④弱視者、⑤難聴者、
- 言語障がい者、⑦情緒障がい者、⑧その他障がいのある者で、特別支援学級に
- おいて教育を行うことが適当と判定された児童が特別支援教育を受けています。

- 特別支援学級の入級判定について
- 特別支援学級の入級判定については、町内の専門職で構成する「特別支援教育連携会議」において専門的見地をもつて判断され、最

終的には保護者の同意を得て確定しています。

なお、特別支援教育連携

会議の専門員は、医師・保

健師・保育士・幼児ことば

の教室職員・学校長・行政

担当課長が担っています。

学校教育法では「児童生

徒に対し障害による学習上

または、生活上の困難を克

服するための教育を行うも

のとする」となっています。

このことから本町でも、

①知的障がい者、②肢体不

自由者、③病弱・身体虚弱

者、④弱視者、⑤難聴者、

⑥言語障がい者、⑦情緒障

がい者、⑧その他障がいの

ある者で、特別支援学級に

おいて教育を行うことが適

当と判定された児童が特別

支援教育を受けています。

今後も、教育行政、福祉

行政、PTA、保護者、地

域が関わり特別支援教育の

さらなる充実を望みます。

また、中学校卒業時の対

応についても、保護者との

協議を重ね検討していくべ

きと思います。

まとめ

本町の全小中学校を合わ

せると、22名の特別支援教

育を必要とする子どもがお

り、各学校においては積極

的に取り組まれています。

今後も、教育行政、福祉

行政、PTA、保護者、地

域が関わり特別支援教育の

さらなる充実を望みます。

産業回生委員会



総務委員会所管事務調査

京都、札幌市、本年1月に大阪府で開催されたフェアに出展しました。ブース着席者は、東京都は6人、札幌市は7人、大阪府では2人でした。

また、視察研修を札幌市、鹿追町など3カ所で実施しました。

4. 本別町農業塾を3回、

また、視察研修を札幌市、鹿追町など3カ所で実施しました。

5. 本別町農業塾を3回、

また、視察研修を札幌市、鹿追町など3カ所で実施しました。

まとめ

新規参入は平成6年から現在まで1名となっています。新規参入者が少ない要因は、農地価格が他町村よりも高いこと、離農者は町内農家への転売や賃貸を希望する傾向があり、新規参入

者の農地がほとんどないためだそうです。農協との連携をより一層強化し、鋭意取り組むよう期待します。

まとめ

本町の土地改良は、平成29年度で進捗率が100%に達する予定です。

今後も、事業の継続と早期の整備により農地が改善され、農業経営が安定していくことを期待します。

まとめ

本町の土地改良は、平成29年度で進捗率が100%に達する予定です。

2. 今後の基盤整備は、農家戸数69戸から申し込みがあつた希望面積を基に、新規事業を平成30年度から道営畠地帯総合整備事業により整備を進める計画です。

○農地基盤整備の進捗状況と今後の計画について

1. 仙美里地区、本別地区

での道営畠地帯総合整備事

業は平成28年度、勇足地区

は平成29年度で完了する予

定です。



砂利暗きよの施工

広報広聴 常任委員会

本別町市街地婦人会と の懇談会

開催日／平成28年6月20日

「町内各団体との懇談会」

企画第2弾は、市街地婦人会の皆さん（出席者15人）との懇談を行いました。「女性の視点から見たまちづくり」について出された意見等を抜粋して紹介します。

Aさん 婦人会が発足してから30年、花に携わってから15年が経過しました。現在は、道の駅前のロータリーに800本の花の苗植えや草取り、後片づけを行っています。夏の暑い時期の作業はたいへんですが、半年間綺麗な花を見て心が癒されています。

Bさん 5月には雑巾づくりを実施し、小学校に150枚、中学校に100枚届けてたいへん喜ばれています。

Cさん 会員の会費だけで運営しており、会員が減るといへん厳しい状況です。ふれあ

Dさん 高齢者が休めるように市街地まで歩かれる高齢の方から、300mぐらいの間隔で腰を掛ける物があると助かると聞きます。街の中には元



道の駅前のロータリーの花壇

ふれあい祭りや雑巾縫いボランティアで公民館などを利用していますが、5割の施設使用料がかかり負担になっています。

い祭りのうどんとそばを一生懸命売つて、この花代に当っています。今年から宿根草を植えて花代を減らすよう行っています。

Eさん 空き家対策で
Fさん 会員が高齢化していくと花壇の整備、草取り、雑巾縫いもたいへんになりますが、できる範囲でがんばっていこうと思っています。大風でトタンが飛んできます。

Gさん 婦人会の今後の活動について
Hさん 会員が高齢化していくには、花壇の整備、草取り、雑巾縫いもたいへんになりますが、できる範囲でがんばっていこうと思っています。



市街地婦人会との懇談会

9月定例会は 6日から予定しています

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

後記
平成26年1月に議会広報

特別委員会から広報広聴常任委員会となり2回目の企

画となり、他にもご意見を

たくさんいただきました。気くのベンチがあるので良いのですが、新町から本別大橋までは距離があり、高齢者や体の不自由な人の配慮があれば。

紙面の都合で十分に掲載できないのは残念ですが、女性ならではのまちづくりの視点と思いやりを感じました。これからも早めに除雪してあげほしいです。

会期中に限り、議会決議によって付託される権限を持つており、閉会中の議決によつて付託された特定の事件について審査することができます。この「審査」には「調査」も含まれていて、議会が特設された、その事件について設置されるので、議会が特設したときに消滅します。

議会用語の解説

『特別委員会の権限』

会期中に限り、議会決議によって付託される権限を持つおり、閉会中の議決によつて付託された特定の事件について審査することができます。この「審査」には「調査」も含まれていて、議会が特設された、その事件について設置されるので、議会が特設したときに消滅します。



人口減を止めるためにも
早めの対応を

古市 照男さん(栄町)

今回は、町内の警備会社にお勤めの古市照男さんにお話を伺いました。

議会の傍聴は2回目で、警備の仕事で役場と老人ホームを担当しており、たくさんの職員があるので、定数がどうなのが関心があり、一般質問の傍聴に来られたそうです。

傍聴していく感じたことは、傍聴者が4人と少なく、多くの町民が足を運んではいるよう何か工夫をしてはとご意見をいただきました。

また、一般質問の答弁は簡潔に話してくれれば、もう少し解りやすくなるのに勤めの古市照男さんにお話を伺いました。

う少し解りやすくなるのではと感じたそうです。

議会だよりは、議会活動など、知りたいことがたくさん載っているが、字が小さく読んでいるそうです。

議会、議員に対する要望としては、これからの中別町の進むべき道として、人口減を止めるためにも、近隣町村を参考にしながら、しっかりと取り組んでほしいとも語ってくれました。

ご趣味は、休日の山菜採りのことでした。

委員長
副委員長
委員
藤田直美
篠原静夫
阿保義彦
矢部隆之
山西三夫

議会日誌

[5 月]

- 12日 議会運営委員会、議員協議会、議員ボランティア活動（ごみ拾い）
- 13日 十勝圏活性化推進期成会文教福祉委員会（帯広市）
- 16日 一部事務組合議会臨時会（帯広市）
- 18日 宮城県南三陸町議会表敬訪問来町
- 19日 町民植樹祭
- 20日 議会運営委員会、議員協議会
- 23日 本別消防署及びとかち広域消防局施設視察研修（帯広市）
- 31日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会総会（北見市）

[6 月]

- 1日 十勝林活議連協議会総会（帯広市）
- 3日 議会運営委員会
- 6日 十勝圏活性化推進期成会総会（帯広市）
- 7日 第2回定例会開会、議員協議会、本別町林活議連役員会、産業厚生常任委員会
- 9日 北海道町村議會議長会総会（札幌市）
- 10日 議会運営委員会
- 14日 議員会役員会、本会議（一般質問）
- 15日 本会議（議案審議）、議員協議会、議会運営委員会
- 16日 本会議（議案審議）、本別町林活議連総会、議会運営委員会
- 17日 広報広聴常任委員会、収納業務不適切処理に関する調査特別委員会、議員協議会
- 19日～20日 札幌本別会総会（札幌市）
- 20日 本別町市街地婦人会との懇談会
- 25日～27日 清流会総会（東京都）
- 29日 収納業務不適切処理に関する調査特別委員会
- 30日 広報広聴常任委員会

[7 月]

- 1日 産業厚生常任委員会
- 5日～6日 北海道町村議會議長会議員研修会（札幌市）
- 6日 収納業務不適切処理に関する調査特別委員会
- 11日 収納業務不適切処理に関する調査特別委員会
- 12日 広報広聴常任委員会
- 14日 宮城県美里町議会視察来町
- 20日 広報広聴常任委員会
- 22日 議員協議会、収納業務不適切処理に関する調査特別委員会、産業厚生常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 千葉県東金市議会視察来町

総括集後記



2年間、大変お世話になりました。（8月任期満了）

「議会だより」は町民皆さんと議会・議員をつなぐ絆の一つです。このことを常に意識しながら、委員一同、記事の編集と構成にあたってきました。

平成26年より常任委員会となり、活動項目に「広聴」部門が設けられました。そして、第1回目は商工会青年部と、第2回目は今呂に掲載の市街地婦人会の皆さんとの懇談会を開催してきました。

議会は6月定例会で「議会基本条例」を成立させ、より町民の皆さんに開かれた議会を目指します。その一翼を担う議会だよりをこれからもよろしくお願いします。